

下関地区大会決勝戦評

○男子決勝

豊浦○53(14-10 15-22 17-6 7-11)49●早鞆

両チームマンツーマン。豊浦#4の3Pで先制するが、早鞆は#6のジャンプショットで入れ返す。お互いに厳しいディフェンスで一進一退の攻防が続く。豊浦14-10早鞆。2Q、展開は変わらない。豊浦はディフェンスから流れをつかもうとメンバーチェンジを繰り返しながらプレスをかける。豊浦#7のパスカットからレイアップで加点する。残り3分早鞆はタイムアウト。早鞆はプレスをかわし、#4の連続3Pで逆転する。豊浦29-32早鞆で前半終了。3Q、開始早々豊浦は#11のジャンプショット、#7のパスカットからレイアップで逆転する。豊浦#9が立て続けにオフェンスリバウンドを取り、#5・#7の外角のシュートにつなげていく。対する早鞆は#4・#6を中心に攻めるが、シュートが決まらずに点差が広がる。豊浦46-38早鞆。4Q、早鞆#7の鋭いドライブで応戦する。豊浦も#4・#7の1対1などで得点する。その後、お互いシュートが入らない展開が続く。早鞆#6の3Pが決まり5点差までつめチームが盛り上がるが、豊浦も#7が3Pを確実に決める。早鞆はディフェンスで粘り加点するも間に合わず、豊浦53-49早鞆で試合終了。

○女子決勝

長府○51(9-6 12-13 13-9 17-18)46●下関商

両チームともにマンツーマン。長府#8のドライブで先制。対する下関商は#8の3P、#11のミドルシュートですぐに逆転する。その後は両チームともシュートまではいくのだが、決まらない苦しい展開が続く。長府9-6下関商。2Q、下関商が#13の3P、#15のミドルシュートで再逆転。さらに#18のアウトサイドシュートも決まり点差が開く。一方長府は前からプレッシャーをかけマイボールとし加点していく。長府21-19下関商で前半終了。後半、お互いいい合わせが出るもシュートがなかなか決まらない。しばらくの間、膠着状態が続く。3分が経過したところで下関商はメンバーチェンジを繰り返しながら、流れを引き寄せようとするも、長府が速攻からリズムを掴み始める。下関商は何とかりバウンドで繋いでいくもシュートがリングに嫌われる苦しい時間帯が続いた。長府34-28下関商。4Q、お互いにミスが多発する。落ち着きを取り戻し、下関商#9のミドルシュートで得点し応戦する。対して長府は#4の3Pを決め、なかなか点差は縮まらない。長府は再び前からプレッシャーをかけ、フリースクリーンから#14の3Pなどで10点差とする。このままいくかと思ったが、下関商は最後の意地を見せ、点差を縮めるも、結局長府51-46下関商でゲーム終了。長府のチームとしての安定感と下関商の新しい力を感じるこのことができるゲームとなった。両チームとも次の大会が楽しみである。